



豆つぶやき (職場体験後記) 編集室

取材、原稿執筆と大忙しの3日間▼



市役所とは? から始まり、カメラの使い方や現場取材、原稿の作成など、本当に3日間たくさんの事を学びました。この経験を生かして、これからも頑張っていこうと思います。(山下)

初めて取材をしてみても、楽しかった反面、相手に質問する時に戸惑って大変でした。そして、とても緊張しました。でもいい経験になったと思います。(田口)



市役所で職場体験をした中学生に記事を作ってもらいました 津山っ子デビュー14 (北陵中学校) 友だちの職場体験取材しました 11月9~11日 市内各事業所

洋菓子店「ラ・プロヴァンス」では、二人の中学生が、てきぱきと与えられた仕事をこなしていました。お菓子を箱に詰めて店頭の棚に陳列する作業や、注文を受けたお菓子をショーケースから取り出す作業などをていねいに行っていました。少し緊張している様子でした。

生徒の一人は「お菓子作りが好きなので、ここでの職場体験を選びました」と充実した表情で話してくれました。

接客や陳列など慣れない仕事に少し大変そうでしたが、二人とも仕事を教わるお店の人の熱意を感じながら、甘い香りが漂う店内で一生懸命、頑張っていました。



第16回つやまロボットコンテスト 射ぬけハート!! アイドルロボコン 知恵とアイデアでハートを狙う 11月20日 津山工業高等専門学校(沼)

小中学生の部と高校一般の部に全41チームが出場して熱戦を繰り上げました。ピンポン球の発射装置に空気圧やバネ、ローラーを使うなどアイデアを凝らしてハート型の的を狙います。

小学生チームで唯一、決勝トーナメントに進出したチームベストショットの山本隼也さん(院庄小5年生)は「予選で中学生チームに勝ててよかった。来年はもっと工夫したロボットを作って優勝したい」と次回の大会に夢を馳せていました。



第6回B-1グランプリ in HIMEJI まちおこしの力が結集 11月12・13日 兵庫県姫路市

全国で食を通じてまちおこしを行っている団体が自慢のB級ご当地グルメを持ち寄り、地域を元気にすることが目的のまちおこしイベント。

津山ホルモンうどん研究会は、今年で3回目の出展となり、津山のB級ご当地グルメの魅力を関西圏の人びとに伝えました。津山市から応援に駆け付けた来場者にも「頑張っよ」などと温かい声を掛けられ、大奮闘。見事、シルバーグランプリ(第2位)を獲得しました。

津山まつり

守っていききたい故郷の祭り

10月16・23日 大隅神社関係・徳守神社・高野神社



「ワッショイ、ワッショイ」「ソーレ、ヤレー」カンカンカン。まちなかや路地に元気な掛け声が今年も響いた津山まつり。歴史を物語るきらびやかな神輿と重層な彫刻に飾られただんじり、いなせな子ども奴が、まちを練り歩きました。見物客の中には「津山まつりを観たくなくて、40年ぶりに津山に帰郷しました。今も昔も祭りの勇壮さは変わりませんね。とても懐かしくて、やはり故郷っていいなあと思いました」と感慨深げに語る初老のご夫婦もおられました。

津山市総合防災訓練

みんなで取り組む地域防災

11月13日 吉井川南岸河川敷

陸上自衛隊や津山圏域消防組合など防災関係機関や医療機関、自主防災組織、町内会などから約650人が参加した総合防災訓練。大規模災害が発生したという想定で被害情報収集、救出救護、避難誘導などの訓練を実施しました。

今年の自主防災組織の訓練は、初期消火の要として消火器の正しい使い方などを実施しました。小学生の参加者も、指導する消防職員の指示に従って真剣な表情で訓練に取り組んでいました。



第6回津山スイーツフェスタ スイーツストリート ねえ〜、どれにする?

10月29日 ソシオー番街

商店街に賑わいを取り戻そうと毎年開催されるスイーツフェスタ。来場者は10店舗が用意した約50種類のケーキから好きなものを選んで幸せそうな笑顔を浮かべていました。ピーク時には、約200人の長い行列ができ、大盛況でした。

家族で来場した光井静恵さん(昭和町2丁目)は「毎年楽しみで参加しています。たくさんのケーキが並んでいて迷ってしまいますが、つい同じお店のものを選んでしまいます。来年もまた来たいですね」と話してくれました。